

補助講師のための手引書

1. お願い

「補助講師」と聞くと難しそうに感じるかもしれませんが、身構える必要はありません。上級生が下級生に、兄が弟に勉強を教えるような感覚で、スクラッチを教えてくれることを期待しています。「どう教えたらいいか分からない」ということがあれば、一緒に考えて対応していきましょう。

2. 補助講師の仕事

① 授業開始前	前回の授業で取り組んだ内容を確認しておく 参考：当教室ホームページ「受講中の方へ」⇒「授業風景」
② 授業中	生徒にスクラッチを教える 参考：次章「生徒との接し方（基本方針）」
③ 授業後にすること	生徒の授業中の様子をメイン講師に報告する 授業の当日中、一人以上の生徒について報告。形式は5章を参照

3. 生徒との接し方（基本方針）

基本的には、下表を参考に生徒と接してもらえたらと思います。ただし、これはあくまで方針です。自分の性格や生徒との相性に合わせて、やりやすい方法を見つけてください。

場面	ポイント	声掛けの例
授業中のコミュニケーション	生徒が何をしているか把握する	「何を作っているの？」 「今作っているところまでで遊ばせてもらっていい？」
	悩んでいるかどうか確認する	「順調？」 「困っていることはない？」
悩んでいるとき	解決策を教えて欲しいかどうか確認する	「どうするか教えようか？」 「自分でできそう？」
解決策を教えるとき	(できるだけ) アドバイスは少しずつ	「メッセージを使う必要があると思うよ」 「ここにバグがありそう」
	本人では解決が難しいと感じた時	似たようなプログラムを作って 「こうやって作るといいよ」と答えを見せる 「先生がプログラミングしてもいい？」と確認してから、生徒の作品を直接修正する

4. 禁止事項

次の行為は、補助講師としてふさわしくないと考えています。補助講師をしているときは、控えるようにお願いします。

- ① 「スキルアップ」の時間に、教科書の問題と異なるものを作ること
⇒ 作品をアレンジしたい場合は、「作品づくり」の時間を使うように促してください
- ② 生徒の作品と関係ない、自分の作品を紹介すること
⇒ 生徒の作品作りに必要だと考えてのことであれば問題ありません
- ③ 自分の作品を作ること
⇒ 生徒の作品を見て回ってください。よい指摘は優れた観察力から生まれると思います
- ④ 生徒の作品を許可なく操作すること
⇒ まずは、口頭での説明や黒板を使って説明することを検討してください
(人に説明する力が伸びます)
上記が難しい場合、「代わりに操作してもいい？」など許可を得てから、
生徒の作品を操作することができます

5. 報告テンプレート（授業の様子）

①.メールで報告する場合

宛先：satoshi@earth-shop.net

件名：【報告】★月★日の授業の様子

本文：

<p>サトシ先生</p> <p>お疲れ様です。</p> <p>★★です。</p> <p>本日の授業の様子を報告します。</p> <p>-----</p> <p>★★さん</p> <ul style="list-style-type: none">・取り組んでいた内容 <p>★★★</p> <ul style="list-style-type: none">・「できたこと」や「困っていたこと」など <p>★★★</p> <p>-----</p> <p>以上です。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>

②. プリントに記入して報告する場合

次ページを参照のこと。メイン講師が印刷してお渡ししますので、ご家庭でご準備する必要はございません。

授業内容の報告

日付	年 月 日（ 曜日）	
教室	樋井川 ・ 昇町 ・ 白水ヶ丘	
補助講師名		
名前：	取り組んでいた内容	
	「できたこと」や 「困っていたこと」など	
名前：	取り組んでいた内容	
	「できたこと」や 「困っていたこと」など	
名前：	取り組んでいた内容	
	「できたこと」や 「困っていたこと」など	
名前：	取り組んでいた内容	
	「できたこと」や 「困っていたこと」など	

以上です。難しいと感じたらいつでもご相談ください。どうぞよろしく申し上げます。